



平成 20 年 4 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社セブン&アイ・ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 村田 紀敏  
(コード番号 3382 東証第一部)  
問合せ先 取 締 役 氏家 忠彦  
(TEL. 03-6238-3000)

## 中期計画（平成 23 年 2 月期収益計画）について

当社は、平成 17 年 9 月 1 日設立以降、グローバルな「新・総合生活産業」を目指し、業務改革、事業構造の革新を推し進め、業績の向上に努めてまいりました。今般、平成 20 年 2 月期連結業績実績を基に、中期計画(平成 23 年 2 月期収益計画)を策定いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 中期計画における基本的な考え方

当社はグループ企業価値最大化を推進するため、従来からも重視している連結営業利益及び連結自己資本当期純利益率(ROE)の向上を最優先して事業を展開してまいります。

連結営業利益向上のため、グループ全体及び各事業会社において、下記の事項を重点課題として事業を展開してまいります。

- (1) 内部体質の強化
- (2) 既存事業の事業再編
- (3) 新しい事業への挑戦

また、ROEの目標を平成 23 年 2 月期 8%以上とし、その後、更なる向上に努めROE10%を目指してまいります。そして、その目標達成のために連結営業利益の向上に注力することはもとより、本日付で上限株数 5,000 万株・上限金額 1,700 億円の自己株式取得を公表いたしましたように株主還元の強化と、資産の効率的配分を実践してまいります。

#### 2. 平成 23 年 2 月期収益計画

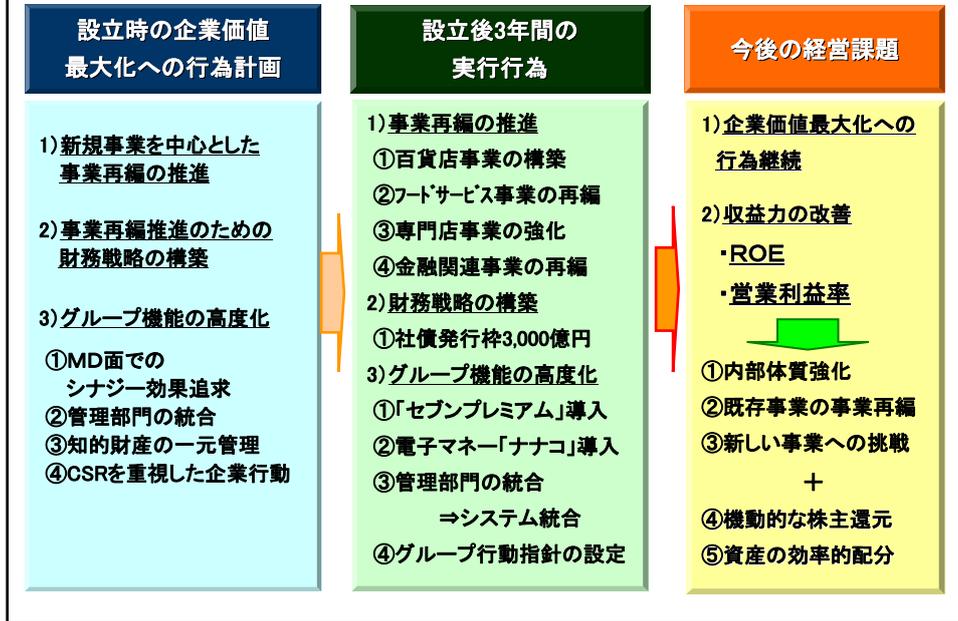
	平成 20 年 2 月期実績	平成 23 年 2 月期計画
連結営業収益	5 兆 7,523 億円	6 兆 800 億円
連結営業利益	2,810 億円	3,320 億円
ROE	6.7%	8%以上

注 1. 平成 23 年 2 月期の連結営業利益計画額は、海外子会社におけるのれん代償却額(平成 22 年 2 月期より発生)約 80 億円を織り込んでおります。

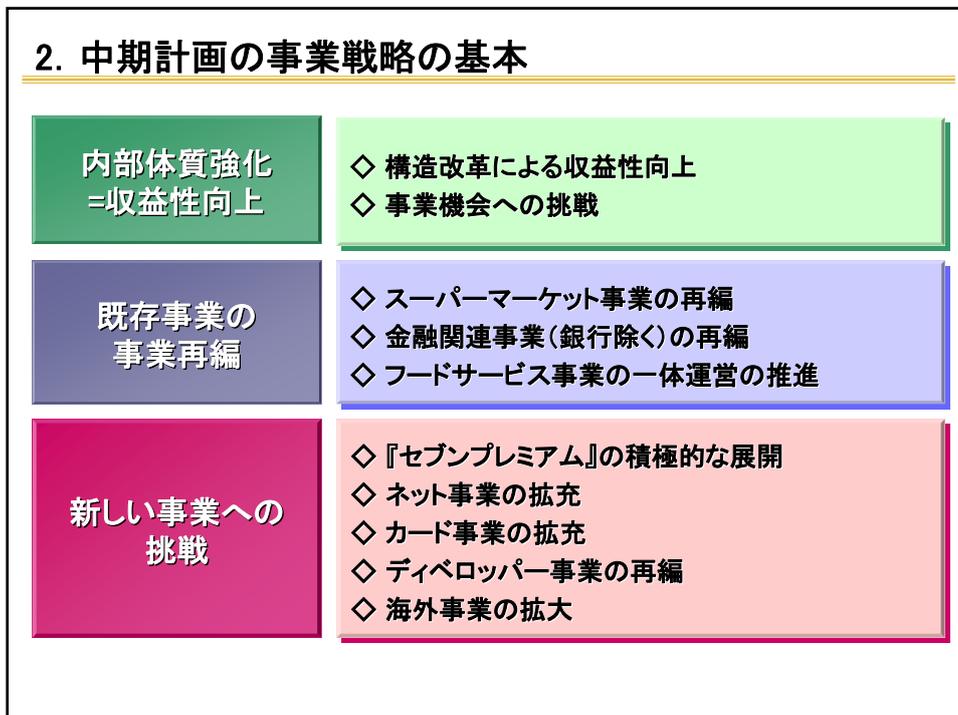
2. 為替換算レート：平成 20 年 2 月期実績：\$ 1=117.85 円  
平成 23 年 2 月期計画：\$ 1=100.00 円

以上

## 参考資料 1. 経営課題の現状認識



## 2. 中期計画の事業戦略の基本



### 3. 内部体質の強化

#### 不採算店舗の閉鎖

- ◇ セブン-イレブン・ジャパン
  - 600店舗の閉鎖
- ◇ イトヨーカ堂
  - 不採算店舗の3~5店舗検討
- ◇ セブン&アイ・フードシステムズ
  - 不採算店舗の140店舗の閉鎖

#### ロスの削減

- ◇ イトヨーカ堂
  - 値下げ・廃棄ロス削減により収益改善を目指す
  - 強化商品群: 衣料品、生鮮食品

#### シナジー効果の追求

- ◇ 新PB商品『セブンプレミアム』の拡大
  - セブン-イレブン・ジャパンへの積極拡大
  - 商品領域の拡大(住居関連、生鮮加工品)
  - 2010年2月期の売上目標3,200億円
  - 開発カテゴリーの3~5%の荒利率引上げ

### 4. 株主還元

#### 株主還元の基本方針

- ◇ 利益向上をともなった株主還元の強化
- ◇ 現金配当: 連結配当性向をもとに算出
- ◇ ROE向上をともなった株主還元 ⇒ 2011年2月期 8%以上が目標

#### 配当政策

- ◇ 目標連結配当性向: 35%の維持・向上
- ◇ 2010年2月期以降: SEIのれん代償却分調整後の当期純利益をベースに配当性向を計算

#### 自己株式の取得

- ◇ 機動的な株主還元策として活用
- ◇ 2008年4月10日公表:
  - ・ 上限株数: 5,000万株 上限金額: 1,700億円
  - ・ 消却予定日: 2008年7月31日